

令和5年8月31日

【照会先】

職業安定局 地域雇用対策課

課長 福岡 洋志 (内線5319)

課長補佐 窪田 智子 (内線5865)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3593)2580

報道関係者 各位

令和5年度「地域雇用活性化推進事業」の 採択地域に、10地域を決定しました

厚生労働省は、雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域などが、地域の特性を生かして「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るために創意工夫する取組を支援します。この「地域雇用活性化推進事業」（令和5年度開始分）の採択地域に、10地域を決定しました。

地域で効果的に「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るためには、産業構造や地理的要因といった特性を踏まえた取組が必要です。

「地域雇用活性化推進事業」では、地方公共団体の産業振興施策や各府省の地域再生関連施策などと連携した上で、地域独自の雇用活性化の取組を実施します。具体的には、地域の市町村や経済団体などの関係者で構成する地域雇用創造協議会が提案した事業構想の中から、雇用を通じた地域の活性化につながると認められるものをコンテスト方式で選抜し、その実施をこの地域雇用創造協議会に委託します。

令和5年度の募集は、令和5年4月7日から令和5年6月2日にかけて行い、外部の有識者を含む選抜・評価委員会での審査を経て、以下の10地域を採択しました（各採択地域の事業概要は別添1参照）。採択地域において、令和5年10月から事業を開始する予定です。

【採択地域】

- | | | |
|--------------------|----------------|----------------|
| 1. 北海道釧路市 | 2. 北海道北見市 | 3. 岩手県二戸地域（※1） |
| 4. 埼玉県ちちぶ地域（※2） | 5. 島根県江津市 | 6. 岡山県津山市 |
| 7. 愛媛県西予市 | 8. 熊本県天草地域（※3） | 9. 大分県竹田市 |
| 10. 鹿児島県奄美大島地域（※4） | | |

※1 二戸市、一戸町、軽米町及び九戸村

※2 秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町及び小鹿野町

※3 天草市、上天草市及び苓北町

※4 奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町及び龍郷町

※5 地域の雇用創出目標数などの詳細は別添1をご覧ください。

【別添1】 地域雇用活性化推進事業（令和5年度開始分）採択地域一覧および事業概要

【別添2】 地域雇用活性化推進事業の概要

【参考】 「地域雇用活性化推進事業」 ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03839.html

地域雇用活性化推進事業(令和5年度開始分)採択地域一覧

地域名		地域分類	事業タイトル	ページ 番号
1	北海道 釧路市	過疎等地域 (過疎地域)	互いの想いに寄り添う出会いの場。雇用創造 in 釧路	3頁
2	北海道 北見市	過疎等地域 (過疎地域)	オール北見！リスキリング雇用創出プロジェクト	4頁
3	岩手県 二戸地域 (※1)	過疎等地域 (過疎地域)	ひとづくりで雇用を創出し、持続可能なカシオペア地域へ	5頁
4	埼玉県 ちちぶ地域 (※2)	過疎等地域 (過疎地域)	DX推進と雇用環境改善により製造業と観光業の生産性を向上し 魅力ある雇用の創出 ～ちちぶ地域サステナブル雇用創出プロジェクト～	6頁
5	島根県 江津市	過疎等地域 (被災地域)	「小さくとも“キラリ”と光る！魅力ある雇用のまちGOTSU」創造プロジェクト	7頁
6	岡山県 津山市	過疎等地域 (過疎地域)	デジタル化促進による地域産業の生産性・魅力向上プロジェクト	8頁
7	愛媛県 西予市	過疎等地域 (過疎地域)	仕事人が人を、人が仕事を呼び込む好循環。 目指せローカル雇用創出プロジェクト	9頁
8	熊本県 天草地域 (※3)	過疎等地域 (被災地域)	新しい観光と先端ITでつなぐ宝島・天草の未来	10頁
9	大分県 竹田市	過疎等地域 (被災地域)	誰もが自分らしく幸せな生き方が出来るまち雇用活性化事業 ～たけたWLIプロジェクト～	11頁
10	鹿児島県 奄美大島地域 (※4)	過疎等地域 (被災地域)	世界自然遺産の島で働き、暮らしていく雇用創造プロジェクト	12頁

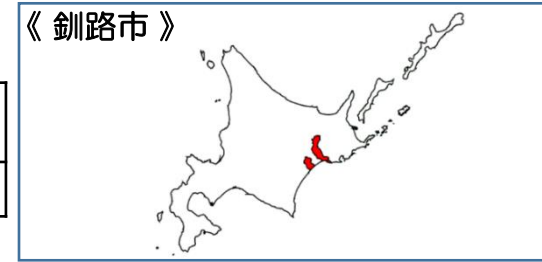
※1 二戸市、一戸町、軽米町及び九戸村

※2 秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町及び小鹿野町

※3 天草市、上天草市及び苓北町

※4 奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町及び龍郷町

くしろし
北海道釧路市《過疎等地域》

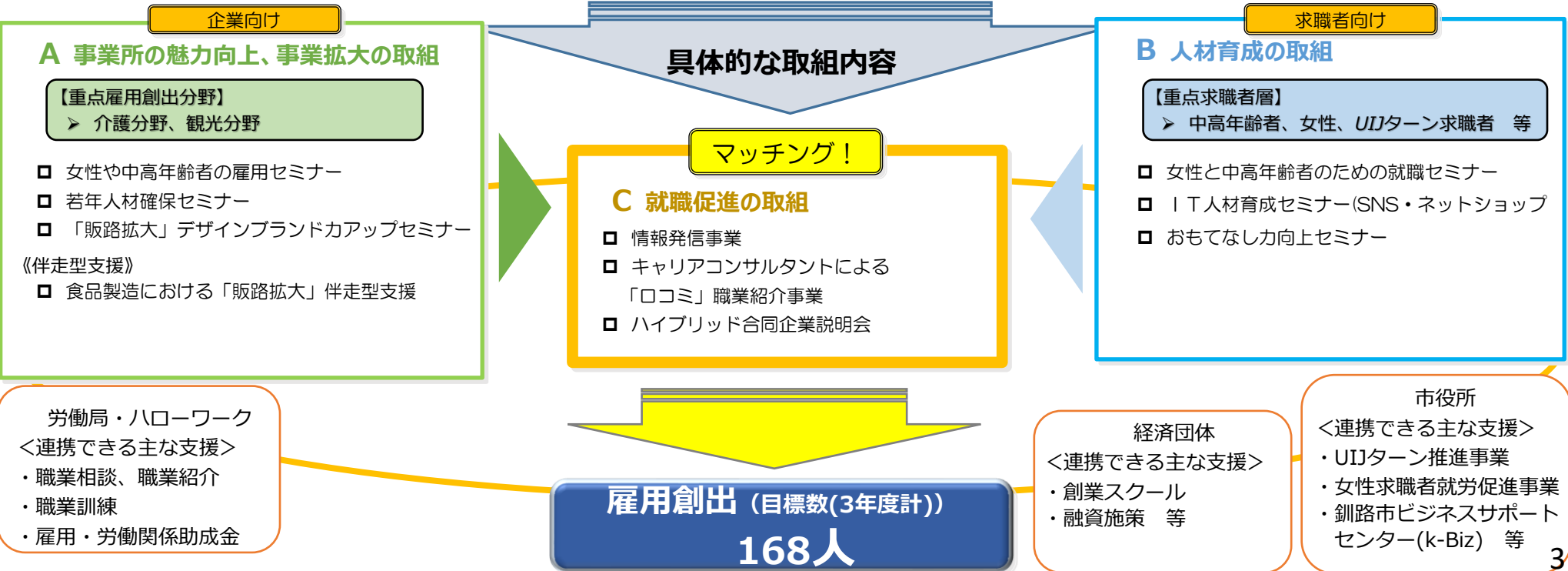


事業タイトル	互いの想いに寄り添う出会いの場。雇用創造 in 釧路				
人口(※1)	163,110人	人口減少率(※2)	6.54%	高齢化率(※1)	34.63%

※1：R4.1.1時点

※2：(H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口) / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題	事業の全体像
<ul style="list-style-type: none"> 有効求人倍率は、令和4年度では1.43倍と北海道平均を0.34ポイント上回っているものの、雇用のミスマッチが発生している。 市内には結婚や子育てのために離職している女性や就業意欲はあるものの就業に繋がっていない中高年齢者が一定数存在している。 若年者については、地域内企業を知らない、大都市に比べて給与水準が低い等を理由にUターン就職を諦める方が多くいる。また、市内の大学に在籍する学生の約8割が同様の理由で卒業後に市外に流出してしまっている。 	<p>第1期事業より、子育て中または子育てが一段落した女性や中高年齢者の中に高い就労意欲を持つ方が多く存在することが分かっており、雇用管理改善や職域開発等で事業所の魅力向上を図り、潜在的労働力とされている女性・中高年齢者と企業との就職マッチングをすすめ、企業の人手不足に対応する。</p> <p>また、地元の若年者の進学・就職による域外流出を防ぐために、企業の採用力の向上、雇用管理改善および情報発信力の向上を図り、企業との就職面接の機会を提供する。</p>





事業タイトル	オール北見！リスキリング雇用創出プロジェクト				
人口(※1)	114,326人	人口減少率(※2)	4.71%	高齢化率(※1)	34.06%

※1：R4.1.1時点

※2：(H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口) / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題

- ・R22年には、生産年齢人口の約3分の1が減少、老年人口も人口の半分近くになるなど、生産年齢人口の減少や少子高齢化がますます進んでいくことが予想される。
- ・有効求人倍率は、全国及び北海道と比較して高い状況となっているが、雇用のミスマッチが生じている。
- ・北見市労働状況調査では、正規従業員の充足度が不足していると回答した割合は、全体で47.9%と深刻な人手不足の状況にある。
- ・市内工業大学及び看護大学の市内就職率が低く、地元企業でも学んだ知識・技術を生かせるというインセンティブを与えていくことが求められている。

事業の全体像

- ・令和2年度から実施してきた経験から、人手不足で参加自体が難しい事業所向け研修会をよりニーズが高いものへとビルドアップ
- ・また、従業者数が多く、雇用吸収力の高い産業を対象にすることで参加者と雇用創出数の確保を図るとともに、地域経済への波及効果をより高めるため、人手不足だが、付加価値額が大きい産業を重点分野に設定
- ・この取組で従業員等のスキルアップ→事業所の生産性の向上→新たな雇用の創出という好循環を生み出すことを意識
- ・民間でできることは民間でという考えのもと、協議会が注力すべき業務を見直し、研修内容等の質を高めることに傾注できる運営体制づくりを再構築する。

企業向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

【重点雇用創出分野】

- 卸売・小売業分野、医療・福祉及び建設業など人材不足産業分野

- 人材不足産業従事者スキルアップ・リスキリング研修（医療・福祉）
- 人材不足産業従事者スキルアップ・リスキリング研修（建設業）
- DX推進研修 等

《伴走型支援》

- 高付加価値化・リブランディング化伴走型支援及び好事例・ノウハウの地域内企業への展開

労働局・ハローワーク
＜連携できる主な支援＞

- ・職業相談、職業紹介
- ・職業訓練
- ・雇用・労働関係助成金

経済産業局

- ＜連携できる主な支援＞
- ・北海道よろず支援拠点
- ・人材確保応援サイト 等

具体的な取組内容

マッチング！

C 就職促進の取組

- 協議会ウェブサイト・SNS等による事業などの情報発信事業
- 合同企業説明会・面接会
- 無料個別就職相談事業
- 企業見学会 等

求職者向け

B 人材育成の取組

【重点求職者層】

- 若者、高齢者、子育て中又は子育てが一段落した女性、UIターン希望者

- パソコンスキル習得セミナー（初級者向け）
- パソコンスキル習得セミナー（中級者向け）
- 経理・会計スキルアップ・リスキリングセミナー

経済団体
＜連携できる主な支援＞

- ・個別相談会
- ・各種融資制度の斡旋
- ・事業計画作成支援 等

市役所

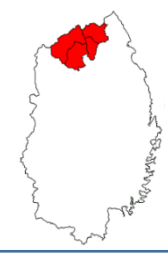
- ＜連携できる主な支援＞
- ・中小企業振興推進事業
- ・若者就活応援サイト
- ・移住支援金 等

雇用創出（目標数(3年度計)）

102人

にのへちいき へのへし いちのへまち かるまいまち くのへむら
岩手県二戸地域（二戸市、一戸町、軽米町、九戸村）《過疎等地域》

《二戸地域》

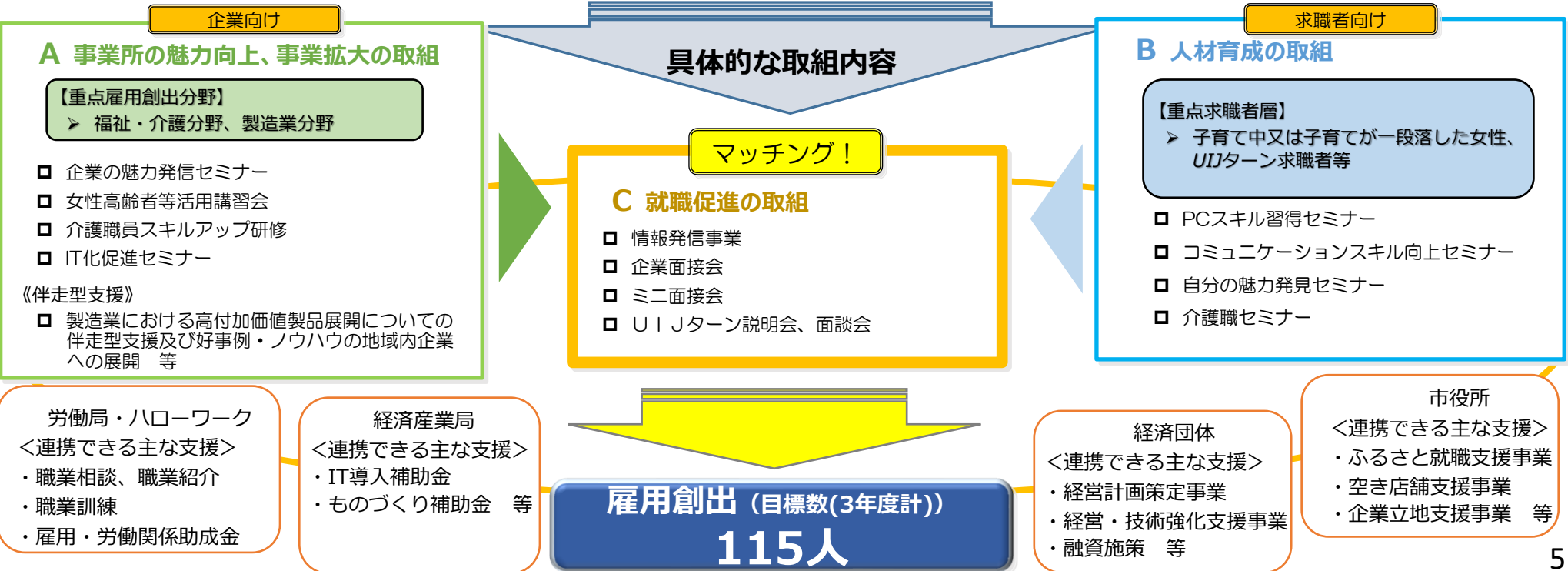


事業タイトル					
ひとつづくりで雇用を創出し、持続可能なカシオペア地域へ					
人口 (※1)	51,248人	人口減少率 (※2)	9.73%	高齢化率 (※1)	40.62%

※1：R4.1.1時点

※2：（H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口） / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題	事業の全体像
<ul style="list-style-type: none"> 二戸地域の有効求人倍率は1倍以上で推移しているものの、求職者の減少によって企業にとって人手不足の状況が続いており、特に介護サービス業、製造業では慢性的に人手不足の状況にある一方で、事務職は有効求人倍率が0.5倍以下の月が多く、雇用のミスマッチが生じている。 新規求職者に占める中高年齢者の割合も年々増加傾向にあること、就職を希望する高校生の管外への流出等の問題もあり、雇用に係る対策事業の実施が必要不可欠な状況である。 	<p>構成市町村、各関係機関と連携し、地域内の魅力ある雇用を確保する。事業所向けには、DX化に向けたIT促進の取り組みなどによる生産性の向上、情報発信力の向上の支援を行う。また、高齢化する求職者や、一度退職をした女性等の雇用にも理解が得られるようなセミナーを行う。</p> <p>求職者向けには、PCスキル、コミュニケーションスキルの向上を図る取組で地域雇用の促進を図る。</p> <p>また、労働力人口減少に対応するため、魅力ある雇用情報の発信、UIJターン希望者等の地域への誘導や新規高卒者の地域内就職を図る。</p>



ちちぶし よこぜまち みなのみち ながとろまち おがのみち
埼玉県ちちぶ地域（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町）《過疎等地域》

《ちちぶ地域》

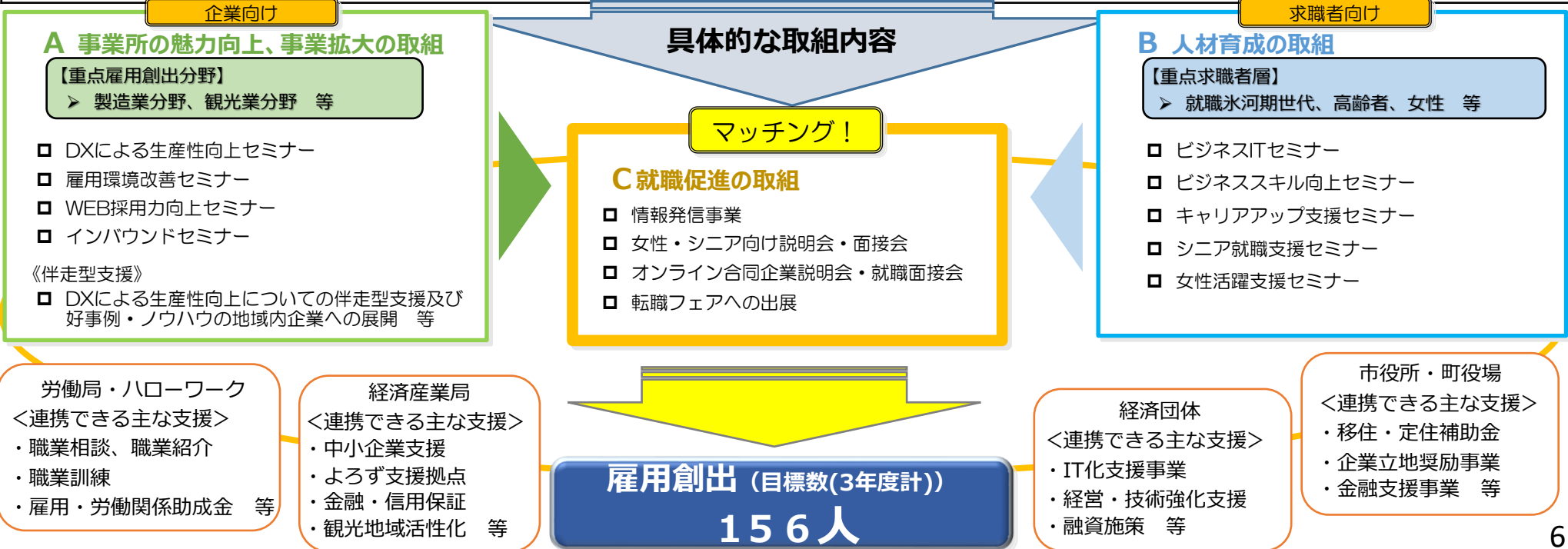


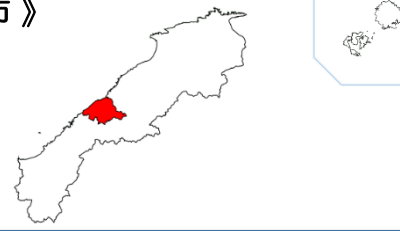
事業タイトル	DX推進と雇用環境改善により製造業と観光業の生産性を向上し魅力ある雇用の創出 ～ちちぶ地域サステナブル雇用創出プロジェクト～				
人口(※1)	95,302人	人口減少率(※2)	7.82%	高齢化率(※1)	35.70%

※1：R4.1.1時点

※2：(H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口) / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題	事業の全体像
<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や高齢化率の上昇により、生産年齢人口が減少し、労働力の確保が厳しい状況であり、企業の人手不足が深刻化している。 地域に大学や専門学校などがなく、進学や就職に伴い地域外に転出する若者が多く、新規求職者に占める在職者の割合が高い。 製造業分野では、慢性的に人手不足が続いており、原材料費や光熱水費の高騰により価格転嫁につなげていない企業が多く、抜本的な生産性の向上やコスト削減への取組が課題となっている。 観光分野では、ポストコロナに向け観光客が戻りつつある中で、人手不足が続いており、外国人観光客の増加に対する取組が十分とは言えず、今後インバウンド観光客をいかに獲得するかが課題となっている。 	<p>秩父地域の中心産業である「製造業分野」と地域の資源を活かした「観光分野」を重点分野に設定し、地域内の関係機関との連携のもと、地域一体となって各種事業に取り組み、持続可能な魅力のある雇用の創出につなげる。</p> <p>特にDXや雇用環境改善のセミナーを実施し、伴走型支援により生産性の向上やコストの削減、業務の効率化などを図る。</p> <p>人材育成の取組で就職氷河期世代や高齢者、女性などの求職者のスキルの上昇や掘り起こしを図るとともに、オンラインの説明会などを実施し、移住者や地域外からの労働力の確保にもつなげる。</p> <p>また、観光分野においても持続可能な観光地域となるようポストコロナに向けインバウンドによる消費を増やし、地域経済の活性化につなげる。</p>





事業タイトル	「小さくとも“キラリ”と光る！魅力ある雇用のまちGOTSU」創造プロジェクト				
人口 (※1)	22,493人	人口減少率 (※2)	7.51%	高齢化率 (※1)	39.67%

※1：R4.1.1時点

※2：（H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口） / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題

事業の全体像

- ・2040年の本市の生産年齢人口は対2020年比で△27.4%と全国平均を上回る減少率になっており市内産業を支える人材の分母が逡減（自然減・社会減）
 - ・直近3か年においては、年間の出生数が100人弱と激減し、「人生100年時代」と共に本市では「人口100人時代」へ。
 - ・人口減による人材不足を補完するため急速なデジタル技術の進化スピードへの対応が求められている。上記の現状を踏まえた地域課題（ミッション）は下記のとおり
1. どの産業分野においても必要とされる地域内のデジタル技術の推進
 2. 自社の魅力等（経営資源）の理解及び情報発信力の向上
 3. ダイバーシティ・高齢化等社会に対応する多様な働き方＆人材の活用【Well-Being】
 4. 雇用施策の根底（礎）となる教育の魅力化を通じた人材の育成

超加速的なデジタル技術の進化に対峙するなか、第1期での取組みの成果を基盤（土台）として、本市では「DX」を「D：できることから X：行動変革」とし、「意識改革」から「行動変革」へとステップアップする取組みにしてい。具体的には、持続可能な魅力ある組織づくりに必要となる「人づくり（＝人材育成力）」「情報発信力及び発信ツール」「採用力」「多様な人材の活用力」とその全ての要素に共通する手段としての「デジタル技術（DX）」を掛け合わせ、魅力ある雇用創出に繋げるために企業に求められるスキル等セミナーを実施する。また、危機的な人材不足や雇用のミスマッチの解消を図るため、人材を各種セミナーで育成した上で、就職面接会等を通じて地域内企業へのマッチングを図り、地域雇用の安定化を目指す。

企業向け

求職者向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

【重点雇用創出分野】

- 製造業分野、建築・福祉分野、デジタル技術の推進に積極的に取り組む分野
- DX促進セミナー ～「D」：できることから「X」：行動変革～
- DX促進セミナー～デジタル技術×情報発信力～
- DX促進セミナー～デジタル技術×魅力発信～
- 選ばれる職場づくりセミナー～採用力×人材育成力～
- 選ばれる職場づくりセミナー～多様な人材＆働き方×Wellbeing～

具体的な取組内容

マッチング！

C 就職促進の取組

- 情報チャンネルHP&無料職業紹介事業
- 合同企業説明会
- 地域企業博覧会&ものづくり研究発表会
- 大学生&U I Jターン就職説明会

B 人材育成の取組

【重点求職者層】

- 高齢者、外国人労働者、U I Jターン求職者 等
- 社会人基礎力アップセミナー
- 情報発信力を身につける！デジタルスキル習得セミナー
- サテライトオフィスに対応したスキルUPセミナー

ハローワーク浜田（WS江津）

<連携できる主な支援>

- ・職業相談、職業紹介
- ・職業訓練
- ・雇用・労働関係助成金

教育機関

<連携できる主な支援>

- ・協働・ICT補助金 等

経済団体

<連携できる主な支援>

- ・個別相談窓口
- ・経営・技術強化支援
- ・融資施策 等

島根県・江津市

<連携できる主な支援>

- ・移住・定住支援
- ・企業立地奨励・サテライトオフィス事業
- ・中小企業向け支援（人材育成・各種補助金 等

雇用創出（目標数(3年度計)）

90人



事業タイトル デジタル化促進による地域産業の生産性・魅力向上プロジェクト

人口(※1)	98,811人	人口減少率(※2)	4.03%	高齢化率(※1)	31.09%
--------	---------	-----------	-------	----------	--------

※1：R4.1.1時点

※2：(H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口) / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題

- ・有効求人倍率は高い水準で推移しているものの、雇用のミスマッチが存在。
- ・人口の自然減や社会減も相俟って、労働力人口が10年間で13%減少するなど、労働者の高齢化、労働力の確保といった面において厳しい状況であり、企業の人手不足が深刻化。
- ・地域内に大規模な企業も少ないため、就業について選択肢が限られることが、若者の転出につながっている。
- ・産業の生産性や付加価値を高める上で重要な情報通信業については、事業所数、事業者数とも全国平均を大きく下回っている。

事業の全体像

デジタル化を促進し、地域の小規模・中小企業の活性化を図るとともに、地域求職者のスキルアップ並びに地域企業とのマッチングを行う。

具体的には、地域の商工会議所、商工会、金融機関、大学・高専などと連携し、主にデジタル化をテーマとした各種セミナーや伴走型支援に取り組みることにより、魅力ある職場環境の拡充と雇用を確保する。

また、それらを担うデジタル人材について、各種セミナーでスキルアップを図ったうえで、地域関連企業への就労や、アドバイザーによる個別マッチングを図る。

企業向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

【重点雇用創出分野】

▶ 製造業、商業・サービス、ICT分野

- ICT活用ビジネス研修
- デジタルマーケティング研修
- 地域雇用活性化推進事業公開セミナー

《伴走型支援》

- 高付加価値商品の開発や販路開拓、プロモーションのトータル支援および好事例・ノウハウの地域内企業への展開
- ICT導入・活用支援および好事例・ノウハウの地域内企業への展開

労働局・ハローワーク
 <連携できる主な支援>
 ・職業相談、職業紹介
 ・職業訓練
 ・雇用・労働関係助成金

経済産業局
 <連携できる主な支援>
 ・中小企業インターンシップ
 ・ICT補助金 等

具体的な取組内容

マッチング！

C 就職促進の取組

- 情報発信事業
- 求職者と地域内企業とのマッチング

雇用創出 (目標数(3年度計))

114人

求職者向け

B 人材育成の取組

【重点求職者層】

▶ 若者、女性、UIターン求職者 等

- システムエンジニア育成研修
- パソコンスキル基礎研修
- パソコンスキル応用研修

経済団体
 <連携できる主な支援>
 ・経営支援事業
 ・創業支援事業
 ・融資施策 等

市役所
 <連携できる主な支援>
 ・企業サポート補助金
 ・まちなかカレッジ事業
 ・オープンファクトリー等



仕事人が人を人が仕事を呼び込む好循環。
目指せローカル雇用創出プロジェクト

事業タイトル

人口(※1)

35,876人

人口減少率(※2)

9.78%

高齢化率(※1)

43.73%

※1：R4.1.1時点

※2：(H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口) / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題

- ・有効求人倍率は高い水準で推移しているものの、雇用のミスマッチが存在し、是正出来ず、業種によっては人手不足が慢性化している。
- ・人口の自然減や社会減も相俟って、労働力人口が5年間で4%以上減少するなど、労働者の高齢化、後継者不足により労働力の確保が厳しい状況であり、企業の人手不足が深刻化。
- ・進学や就職に伴い地域外に転出した若者等の中には、その後、当該地域に戻って来る者はいるものの、人口や労働力人口の増加に繋がる十分な規模ではない。

事業の全体像

就職促進の事業では合同就職面接会(年に一度)に次ぐ更なるイベントを計画し、即効性のあるミニ面接会(2カ月に一度)を数多く実施し、タイムリーな求人活動と求職活動につなげる。
講習会には、構成員である商工会、JA、JF、森林組合などと連携し、情報を交換しつつ参加者を募り、各種セミナーや伴走型支援に参画してくれる先を確保し、魅力ある職場環境の拡充と雇用を確保する。
また、それらを担う人材について、各種セミナーでスキルアップを図ったうえで、地域関連企業への就労や、就職面接会などでマッチングを図る。

企業向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

【重点雇用創出分野】

➢ ICT活用分野

- アフターコロナのブランド開発講習会
- SNSマーケティングの基本を学び活用する講習会
- DX推進講習会
- 人材確保・定着化講習会

《伴走型支援》

- 製造業における高付加価値製品展開についての伴走型支援及び好事例・ノウハウの地域内企業への展開 等

求職者向け

B 人材育成の取組

【重点求職者層】

➢ 高齢者、女性

- シニア向け再就職応援講習会
- ICT人材育成講習会
- 求職者のためのパソコン講習会

具体的な取組内容

マッチング!

C 就職促進の取組

- 情報発信事業
- 合同就職面接会
- ミニ面接会
- 高校生への企業説明会

労働局・ハローワーク

＜連携できる主な支援＞

- ・西予市雇用対策協定による愛媛労働局との提携
- ・職業相談、職業紹介
- ・雇用・労働関係助成金

経済産業局

＜連携できる主な支援＞

- ・人材確保支援等事業
- ・IT導入補助金
- ・ものづくり補助金

経済団体

＜連携できる主な支援＞

- ・経営相談、支援事業
- ・税務相談、経理指導
- ・取引、販路開拓支援 等

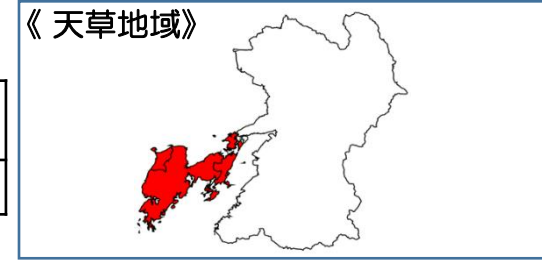
市役所

＜連携できる主な支援＞

- ・企業誘致奨励金事業
- ・移住者住宅改修支援事業
- ・移住支援金事業
- ・移住交流促進事業

雇用創出(目標数(3年度計))

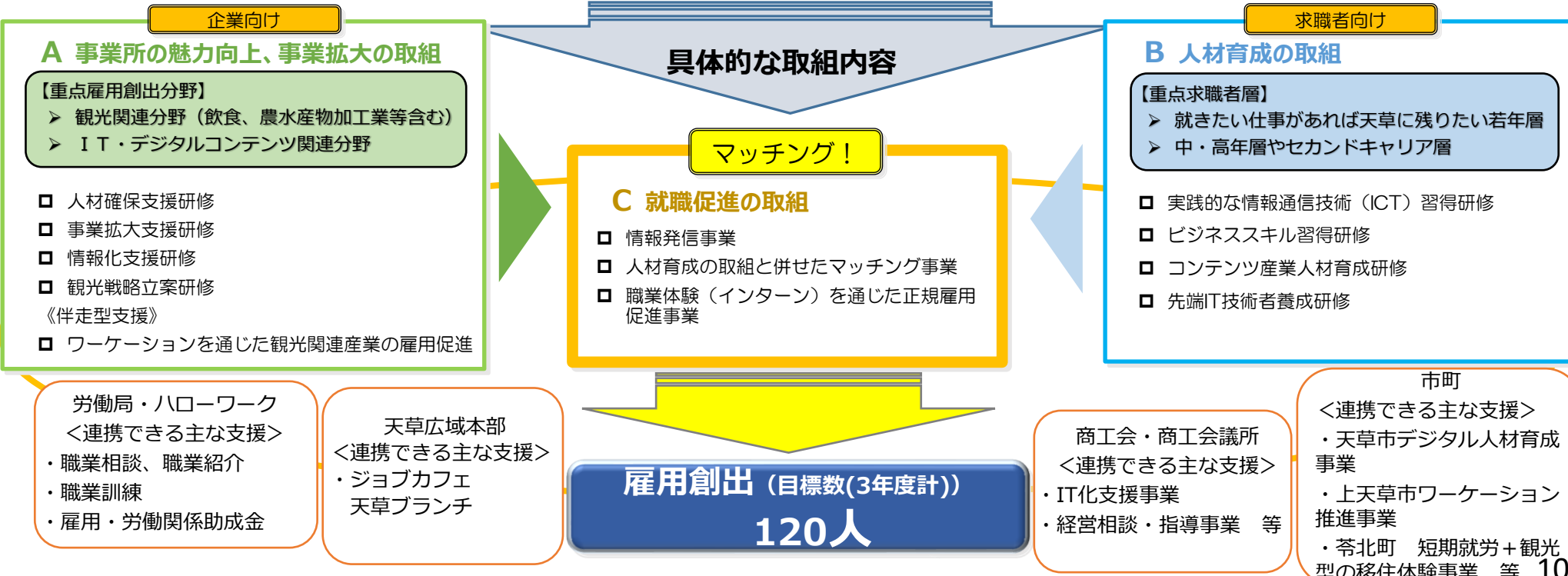
70人



事業タイトル	新しい観光と先端ITでつなぐ宝島・天草の未来				
人口(※1)	109,093人	人口減少率(※2)	9.11%	高齢化率(※1)	41.66%

※1：R4.1.1時点 ※2：（H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口） / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題	事業の全体像
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校卒業者の約8割以上が流出し、県内で最も過疎が進んでいる地域。 ・ 有効求人倍率は1倍をやや上回る程度で推移、時期によっては1倍を下回り、県内で最も雇用情勢が厳しい地域。 ・ 土木技術者や医療技術者等、専門性の高い職種や、介護等所謂不人気業種の慢性的なミスマッチが続く。 ・ 上島地域においてはリゾート関連施設、下島地域においてはIT・デジタルコンテンツ関連企業の進出が進み、市町によるコワーキング施設の整備と相まって、ノマドワークやワーケーションの受け入れ体制が充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹産業である観光関連産業を対象に、誘客戦略セミナーや、伴走型支援によるワーケーションの推進による雇用を促進。 ・ 天草市が掲げる「デジタルアートの島」構想と連携し、若者に人気の高いIT・デジタルコンテンツ産業に就ける人材を育成。 ・ 経営者向けセミナーを通じた地域全体の雇用環境改善に向けた意識啓発。 ・ 職業体験（インターン）マッチングを通じた休眠人材の正規就労促進。 ・ 求職者向けセミナーと併せた業種別企業説明会や、UIターン希望者への情報発信。



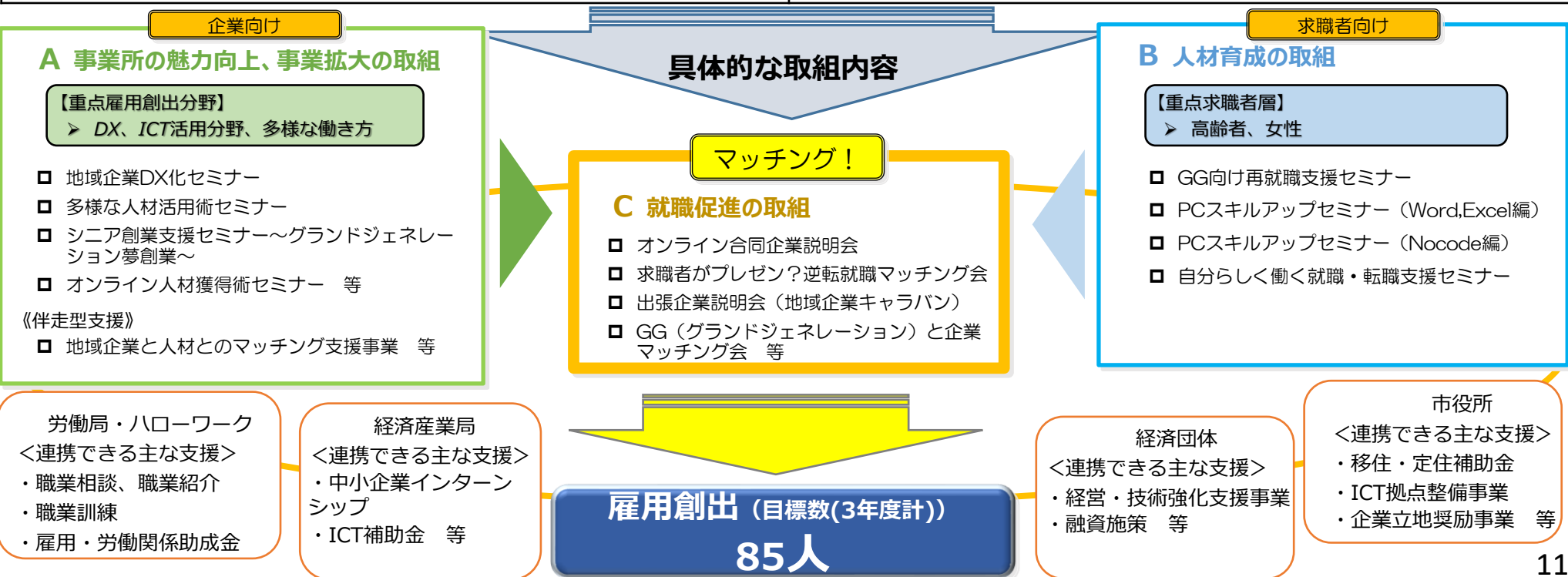


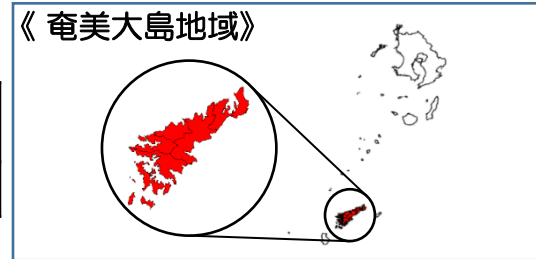
事業タイトル	誰もが自分らしく幸せな生き方が出来るまち雇用活性化事業 ～たけたWLIプロジェクト～				
人口(※1)	20,412人	人口減少率(※2)	10.52%	高齢化率(※1)	47.90%

※1：R4.1.1時点

※2：(H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口) / H4.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題	事業の全体像
<ul style="list-style-type: none"> 竹田市の働き手不足の問題は年々深刻化している。有効求人倍率は1.93倍で求職者が極端に少ない現状にある。 周辺はくじゅう連山・阿蘇山・祖母山・傾山などの1,000m級の山々に囲まれ、湧水群や久住高原など観光資源が豊富にある。 地域の企業の課題はそのほとんどが人材確保である。しかし、地域企業が求めているのは人手である現状がある。人材確保に必要な事業所の魅力向上に係る新しい働き方導入といった取り組みに対して懐疑的な事業者が多い。 竹田市の高齢化率は47.9%であり、人口の約半数は高齢者である。ハローワークの有効求職者数の約43%が65歳以上 	<p>DXを推進することにより地域事業所の業務効率化を行い、多様な働き方、多様な人材を取り入れることで事業所の魅力向上を狙う。企業の課題解決を外部人材を活用した伴走支援で行うことによりプロジェクトの達成率を上げることが可能。求職者人材育成では、地域内求職者の掘り起こしとして全体の約43%を占める65歳以上のシニア世代求職者のスキルアップやフォローが大切である。就職促進では、現地での企業説明会ではオンラインを活用し、人が集まりやすい地域に地元企業と共に訪問するスタイルを基本とする。WLI（ワークライフインテグレーション）の実現を目標に一人一人が幸せに生きられる地域を目指す。</p>

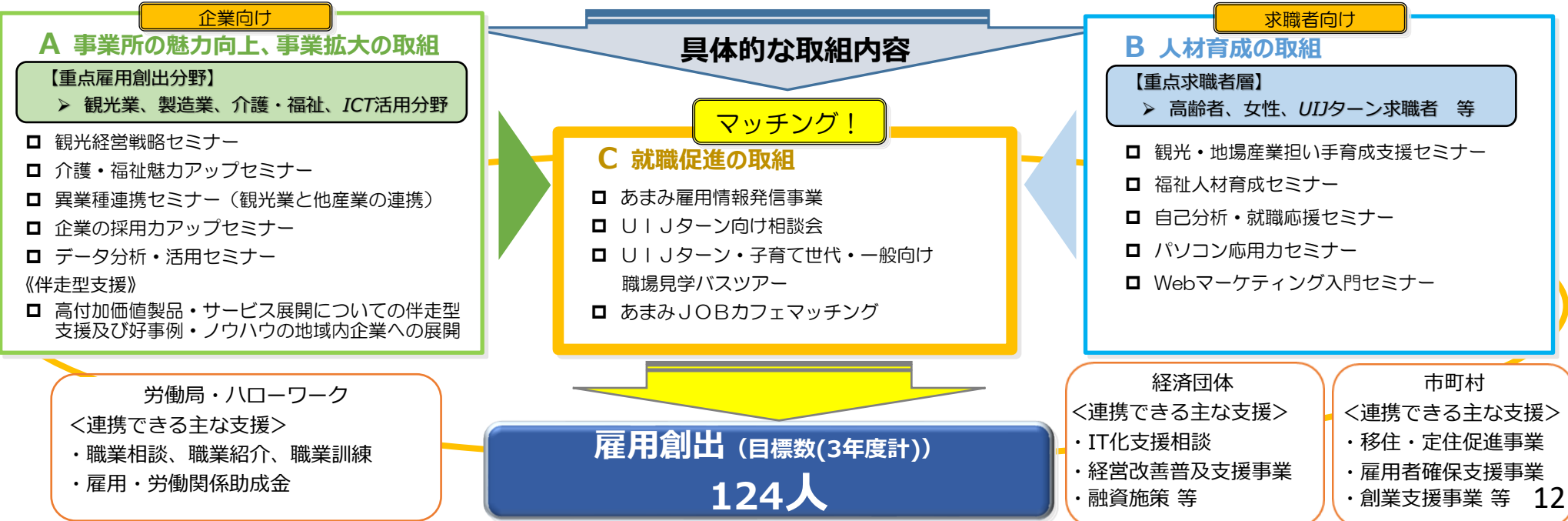




事業タイトル	世界自然遺産の島で働き、暮らしていく雇用創造プロジェクト				
人口※1	59,920人	人口減少率※2	4.48%	高齢化率※1	34.29%

※1：R4.1.1時点 ※2：（H29.1.1の人口 - R4.1.1の人口） / H29.1.1の人口。なお、全国平均は1.10%

地域の現状・課題	事業の全体像
<ul style="list-style-type: none"> 人口、労働力ともに減少傾向で、少子高齢化が進み、高齢化率は34.29%で全国や県の平均より高く、また生産年齢人口の割合は減少している。 第3次産業が84%を占め、特に観光業、介護・福祉において人材が不足している。また、職種による労働力需給のミスマッチが生じている。 子育て世代の女性やシニア世代は勤務時間や転勤の制約から、就業率が低いものの、潜在的な就労意欲は高く、就職につなげる必要がある。 アンケート調査では、高校生等のうち57.3%に将来の帰島意向がある。 奄美大島5市町村が連携しているU I Jターン向けの相談会をより充実させ、移住定住につなげる必要がある。 令和2年度採択事業の雇用者数（アウトカム重複排除）は174名（達成率：209.6%）の成果を得ている。（令和5年3月末報告） 	<p>観光客の増加が見込まれる本地域において、商品・サービスの高付加価値化、地域内循環率の向上を図るため、観光分野を中心とした人材育成、異業種間の連携による奄美らしいメニューの開発を目指し、宿泊業・飲食業を中心として、本地域内の特徴的な地域資源（黒糖焼酎・たんかん・すもも等の農業）等と連携し、観光地の魅力向上と観光消費の拡大に向けた取り組みを実施し、雇用の創出を図る。</p> <p>また、求職者と事業者のミスマッチの解消を図るため、介護・福祉分野における働き方改革等の推進、保育士不足に対応した人材育成、事業者の採用力の強化、求職者の自己分析力の強化を支援するとともに、子育て世代の女性やシニア世代などの求職者がITスキルを身に付け、事業所の即戦力に繋がる人材育成を目指す。</p>



1 事業の目的

雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域等による、地域の特性を生かした「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るための創意工夫ある取組を支援する。

2 事業の概要

- 地域の課題・実情や地域企業、求職者のニーズ・シーズを把握した上で、事業構想を策定
- 地域が提案する事業構想の中から、「魅力ある雇用や人材の維持・確保効果が高いと認められるもの」や「地域の産業及び経済の活性化等が期待できるもの」をコンテスト方式で選抜
- 事業実績（就職件数等）：3,013人（令和4年度）

3 事業のスキーム・実施主体等

対象地域

I. 雇用機会不足地域（次の①、②いずれかに該当する地域）

- ① 最近3年間（平均）又は最近1年間（平均）の地域の有効求人倍率が全国平均（1を超える場合には1.00、0.67未満である場合には0.67）以下であること
- ② 最近3年間（平均）又は最近1年間（平均）の地域の有効求人倍率が1未満であって、最近5年間で人口が全国平均以上に減少していること

II. 過疎等地域

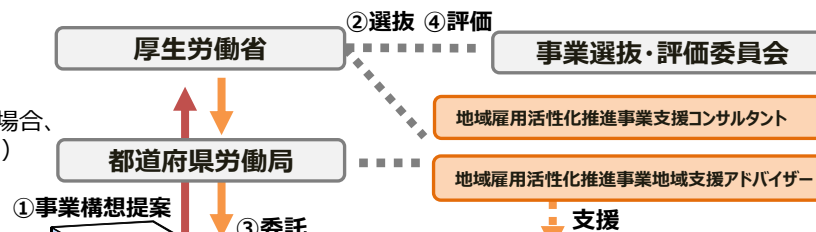
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和3年3月31日法律第19号）による過疎地域や重大な災害の被害を受けた地域として厚生労働大臣が別途定める地域

実施主体：地域雇用創造協議会
（自治体や地域の経済団体等で構成）

事業実績：令和元年度より実施

事業規模：各年度4千万円（複数市町村で連携する場合、1地域あたり2千万円/加算（加算上限1億円/年））

実施期間：3年度以内



事業所向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

魅力ある雇用の確保を図る講習会等の実施

- 新分野進出、販路拡大、生産性向上に必要な技術、ノウハウを学ぶ講習会
- 意欲ある企業が行う新分野進出等の取組への伴走型支援 等

魅力ある雇用の確保・拡大

求職者向け

B 人材育成の取組

地域の人材ニーズ等を踏まえた求職者の能力開発や人材育成を図る講習会等の実施

- 地域農産物の知識・取扱い・加工等や職業スキル（IT、接客等）を学ぶ講習会（オンライン型を含む）
- 地域企業における職場体験 等

スキルアップ・人材の確保

C 就職促進の取組

A、Bを利用した事業主・求職者やUIターン就職希望者を対象にハローワークと連携した説明会等の実施

- 集合型又はオンライン型による合同企業説明会・就職面接会 等

面接会等によるマッチング